

企業研究と大学研究: それぞれのあり方

□ 自己紹介

- 本年3月まで、NEC研究所 & NECエレクトロニクスでリコンフィギュラブルLSIの研究と事業化に従事
- 4月から現職 ～大学発の研究成果実用化にチャレンジ



… 企業人



… 大学人

- Bill Dally (Stanford-nVIDIA), ISCA2010 Keynote. “Moving the Needle: Computer Architecture Research in Academy and Industry”

	企業研究	大学研究
リソース(人、¥)	1～100	1
研究チーム経験値	◎ (熟練者集団)	△ (学生中心)
ユーザ情報アクセス	◎	×
研究の自由度	△	◎
コンテキスト量	膨大	身軽
変えることは…	悪	善



DVLSI分野の大学研究の出口戦略

- システムLSIの難しさ
 - インテグレーションの進展は技術史上の必然
 - 一方、それは本質的に用途を限定してしまう

- 「ディペンダビリティの研究」は、それと類似の難しさを抱えている？
 - 今後の重要性は技術史上の必然
 - 各階層の技術をインテグレートしないと、真の「ディペンダビリティ」は達成できない
 - 一方、インテグレートすればするほど、受取り手から見た障壁は高くなる

